

活動報告書

1月号

モーニングセミナー ピックアップ

12月11日 村上 実氏

12月25日 丹治 陽子氏



テーマ：打つ手は無限

テーマ：第三章(振り返り・気づき・実践)

村上実法人SVは、中川区倫理法人会会長時代に、年間参加社総数全国1位 5年連続白い特別行動旗を獲得し、愛知県会長時代は年間を通じて全28単会100社以上を維持(全国都道府県初)しました。祈り・休眠・炎(会社が火の車)の3人のユニークな専任幹事と会を運営し、スーパースターはいなくてもやれる！と断言します。

私の人生は現在第三章だと話す、丹治陽子静岡県女性副委員長。小学生の時に両親が離婚、海外に飛び出した第一章、大恋愛の結婚と事業の上での大苦難の第二章、倫理への入会と最愛の母の死の第三章を経て「自分で光を探す」ことを体得してきました。倫理は全てがメッセージだと話します。笑いあり、感動ありと、素晴らしい女子活MSとなりました。

居初さん、県でも発表

クリーン大作戦



12月14日の丸山敏雄先生の命日に合わせ、静岡県倫理法人会で感謝・報告の会が催されました。中部地区代表として運営委員の居初さんが体験発表をしました。



今朝は、今年最後のクリーン大作戦でした。JR静岡駅付近や、いつも会場を使わせて頂いているホテルアソシアさんの周りのゴミ拾いをします。先月断念したホテル裏手の側溝の落ち葉を、仲間と協力して拾い切りまし

た。心の引っ掛かりが取れて、何だかとてもスッキリしました。
(幹事 小吹真司)

※次回は1月16日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



2021年は多くの実践を致しました。その中で自分の言動・行動に変化がある実践が、『毎朝万人幸福の葉を読む』実践です。読み忘れた日などは、余計な一言で険悪になったり、わがままがでてトラブルになったりが多いように思います。葉を毎日読むことで、自然と行動にブレーキがかかり、心にゆとりが出来ているのかもしれませんが。実践を会社の業績に表れるまでやり抜いたかと言われると、まだまだ及びません。社長3年目はあまり良い結果を残すことができなかつたので、2022年は初心にかえり、よろこんで苦難を乗り越えて行けるよう全力をつくします。来年のどこかで『はじめの一步』の実践報告ができればと思います。
(県中部地区副地区長 倉嶋雅義)